

(別添2)

事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別 保育所
事業所名（施設名） 小川村保育園

第三者評価の判断基準

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【保育所】内容項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
 「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
A	1 保育内容	(1) 保育課程の編成	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 保育課程は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて編成している。 ■ 2 保育課程は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。 ■ 3 保育課程は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。 ■ 4 保育課程は、保育に関わる職員が参画して編成している。 ■ 5 保育課程は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。 	・当保育園の保育方針に基づき、子どもの心身の発達や家庭状況、地域の実態に応じて保育課程を編成している。園の保育方針や園目標・「豊かな心と身体を育む子ども」に基づいて指導計画を作成している。年度末に全職員で見直しを行い、年齢、子供の成長を考え、次年度へと繋げている。豊かな自然環境を生かし地域と共に支援を行っている。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	1	(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	■ 6 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を、常に適切な状態に保持している。	・子どもが心地よく過ごすことができる環境が整備されている。室内はエアコン、ファンヒーターなどで温度、湿度を調整し快適な環境を保っている。未満児の部屋、子育て支援室、廊下の一部には床暖房の設備がある。園舎は木材を取り入れ、温かみがあり、県森林税を活用したテーブルやベンチ、遊具（木製ハウス）も置かれ環境に配慮した設備が整っている。保育室、遊戯室は可動式パーテーションで仕切られ必要性に応じて、室内の広さを変えることができる。絵本コーナーが設置され、静かに見ることができる場所がある。トイレ、手洗いは保育室の脇に設置され、利用しやすい環境が整っている。手洗い場は保育室前の廊下にも2ヶ所設置されている。
			■ 7 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。			
■ 8 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。						
■ 9 内装等には、木材を利用している。						
■ 10 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。						
■ 11 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。						
■ 12 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。						
② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	■ 13 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。	・一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。発達状況を把握し、個別指導計画を作成している。家庭の調査書、個人懇談などから発達、家庭状況を把握し、一人ひとりに寄り添う保育を行っている。クラスの人数も少ないので一人ひとりの気持ち、欲求をくみ取ることが良くできている。子どもの状態に合わせ、自分でやってみようとする姿を大切にしおり、わかりやすく、穏やかに話すことも心掛けている。			
■ 14 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。						
■ 15 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。						
■ 16 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。						
■ 17 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。						
■ 18 せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。						

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	1	(2)	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ■ 19 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。 ■ 20 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。 ■ 21 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。 ■ 22 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。 ■ 23 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。 	<p>・子どもの基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。子どものやりたい気持ちを大切に援助を行っている。年長児は年少児の着替えを手伝ったり、見本を示したりしながら、子ども同士で助け合い、やってみようとする気持ちを育てている。絵本、紙芝居などの視覚教材を必要に応じて活用している。</p>
			④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ■ 24 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。 ■ 25 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。 ■ 26 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。 ■ 27 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。 ■ 28 生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。 ■ 29 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。 ■ 30 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。 ■ 31 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。 ■ 32 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。 ■ 33 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。 	<p>・子どもが主体的に活動できる環境を整え、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を行っている。自然豊かな環境を利用し、子どもの言動、行動を把握しながら、やってみたい、触ってみたいという気持ちを尊重し保育に取り入れている。少人数なので異年齢で散歩に出かけたり、一緒に遊ぶことが多く、協力し、助け合う心が育っている。理学療法士による体育遊びの指導を受け、年齢、発達に応じて子ども達が身につけたい必要な力を考え、活動に取り入れている。地域柄、お年寄りも多く、交流会や行事を通して伝統文化など教えていただく機会があり、多くの方々から協力をいただき、いろいろな体験を得ている。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	1	(2)	<p>⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>a)</p> <p>b)</p> <p>c)</p>	<p><input type="checkbox"/> 34 0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。</p> <p><input type="checkbox"/> 35 0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係（情緒の安定）が持てるよう配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/> 36 子どもの表情を大切にし、応答的な関わりをしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 37 0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。</p> <p><input type="checkbox"/> 38 0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 39 0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。</p>	<p>・小川村保育園管理規則第2条2項で「保育園に入園できる児童は生後12カ月を経過した者とする」としているため、この項目については非該当とする。 (ただし、希望があれば園内に併設されている子育て支援センターの利用や他の市町村の保育サービス等の紹介は行っている。)</p>
			<p>⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>a</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 40 一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 41 探索活動が十分に行えるような環境を整備している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 42 子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 43 子ども自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 44 保育士等が、友だちとの関わりの中立ちをしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 45 様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 46 一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。</p>	<p>・1歳児と2歳児混合のりす組があり、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育内容や方法に配慮している。1・2歳児21人の一室での生活なので、活動内容を分けるなどし保育を工夫している。テラスを保育室に改築し、活動の場を広げ、落ち着ける場所の確保を行い環境を整えている。2歳児は友達と関わり、ごっこ遊びができるようになってきている。保育士4人の話し合いを毎日行い、子ども達の様子を共有できるようにしている。家庭とは毎日おたより帳と口頭で子どもの様子を伝え合い連携を図っている。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	1	(2)	<p>⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a	<ul style="list-style-type: none"> ■ 47 3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 ■ 48 4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 ■ 49 5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 ■ 50 子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。 	<p>・3歳児のうさぎ組、4歳児のくま組、5歳児のきりん組の3クラスがあり、年齢別指導案、月案、週日案を作成し、保育を行っている。3歳児は生活に必要な生活習慣が身に着けるように援助を行っている。指示待ちでなく自分のことは自分でやってみようとする姿が育っている。4歳児は遊びの中で自分の気持ち、考えを伝えられるよう援助し、環境づくりを行っている。年長児と一緒に遊び、活動する中で興味や協調性が育っている。5歳児は子ども同士で考え、相談しながら活動し、満足感、達成感が得られるよう見守りながら支援している。少人数のクラスであるが、お泊り保育、太鼓の発表、陶芸教室などの活動に意欲的に取り組み、友達との協調性が育っている。</p>
			<p>⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a	<ul style="list-style-type: none"> ■ 51 建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。 ■ 52 障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。 ■ 53 計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。 ■ 54 子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。 ■ 55 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。 ■ 56 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 ■ 57 職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要な知識や情報を得ている。 ■ 58 保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。 	<p>・障がい児指導計画に基づいて個別保育計画を作成し、保育を行っている。園舎はバリアフリーになっていて多目的トイレも設置されている。担当する職員が障がい児研修会に参加し、職員会で報告し、職員間で共有している。おがわっ子サポート事業により教育相談を行い、指導、助言などを受けている。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	1	(2)	<p>⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a	<ul style="list-style-type: none"> ■ 59 1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。 ■ 60 家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。 ■ 61 子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。 ■ 62 年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。 ■ 63 保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。 ■ 64 子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。 ■ 65 担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。 	<p>・長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育内容や方法に配慮をしている。未満児の部屋で幼児も一緒に保育を行っている。長時間担当職員が安全に気を付け、家庭的な雰囲気づくりを行い、保育室に絨毯やマットを敷き、落ち着いて過ごせる場所を作っている。個々で遊べるゲーム、パズルなども用意しゆったりと過ごせるように配慮している。担任から長時間保育担当者への連絡はきちんと引き継ぎをして、保護者にも伝わるように配慮している。</p>
			<p>⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。</p>	a	<ul style="list-style-type: none"> ■ 66 計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。 ■ 67 子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。 ■ 68 保護者が、小学校以降の子どもの生活について見通しを持てる機会が設けられている。 ■ 69 保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。 ■ 70 施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。 	<p>・小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮をしている。小川小学校2年生との交流の機会がある。小学校の先生が来園され子どもの様子を見学している。「保小連絡会」や「就学相談委員会」にも参画しており、保育所児童保育要録を園長の責任のもと担任が作成し、小学校へと引き継がれている。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	1	(3) 健康管理	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	b	<input type="checkbox"/> 71 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 72 子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。 <input type="checkbox"/> 73 子どもの保健に関する計画を作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 74 一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。 <input checked="" type="checkbox"/> 75 既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 76 保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。 <input type="checkbox"/> 77 職員に乳幼児突然死症候群（SIDS）に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 78 保護者に対し、乳幼児突然死症候群（SIDS）に関する必要な情報提供をしている。	<p>・体調悪化、けがが起こった時は園長に報告を行い確認し、保護者に連絡を行っている。未満児の午睡チェックを行っている。健康管理、保健に関する計画が不十分などところもあるので、計画表作成、研修などを行い、適切な健康管理を行うことを期待したい。</p>
			② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	b	<input checked="" type="checkbox"/> 79 健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。 <input type="checkbox"/> 80 健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 81 家庭での生活に生かされ保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。	<p>・身体測定（年6回）、歯科検診・内科検診（年2回）、耳鼻科検診（年1回）を行い、結果は保護者にも報告し、職員にも周知している。今後、指導計画の保健、健康に関する部分に取り入れ、月案、週日案にも反映されることを期待したい。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント				
A	1	(3)	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	■ 82 アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。	・アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。アレルギー対応ガイドラインのもとに、職員は周知している。トレーを分け、間違いがないように注意を払っている。家庭より調査票を提出してもらい状況を把握している。必要により医師の指示書を提出していただいている。アレルギーのない他の子どもや保護者にも説明し、理解が得られている。				
		■ 83 慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。	■ 84 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。		■ 85 食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。		■ 86 職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要な知識・情報を得たり、技術を習得している。	■ 87 他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。		
(4) 食事	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	■ 88 食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。		・食事を楽しむことができるよう工夫をしている。食育計画に基づいて保育課程、指導計画を作成し、実践している。給食室を「にこにこれすとらん」と名前を付けて、用意ができると「かいてん」を表示している。子ども達を目線で給食室の様子が見えるなど、給食への関心を高める工夫を行っている。「にこにこパーティー」を開き異年齢で食事をする機会を作り、楽しく食事ができるように工夫をしている。当番の子ども（給食着、帽子、マスク着用）が配膳を行い、楽しみだけでなく、感謝の気持ちや注意力も育てている。人参を星形に切り数個給食に入れ、人参の入っていた子どもの写真を「今日のスターは誰だ」として撮るなど、ワクワクする企画を考え、楽しく食べられるように工夫している。家庭へは月に一回、「にこにこれすとらんだより」を配布し、献立内容と「今日のスター」、メニューなどの紹介を行い、サンプル提示も毎月一週間行い、給食の内容を伝えている。入園のしおりに「にこにこれすとらん」の詳しい内容を記載して給食の内容、食材、マナーなどの情報を提供している。					
■ 89 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。	■ 90 子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。		■ 91 食器の材質や形などに配慮している。				■ 92 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。	■ 93 食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。	■ 94 子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。	■ 95 子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	1	(4)	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ■ 96 一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。 ■ 97 子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。 ■ 98 食事の内容は、県産の農畜産物等を利用したものとしている。 ■ 99 残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。 ■ 100 季節感のある献立となるよう配慮している。 ■ 101 地域の食文化や行事食などを取り入れている。 ■ 102 調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。 ■ 103 衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。 	<p>・一人ひとりの発育状況、体調に合わせて献立、形状、量に工夫をし提供している。月一回給食会議を開き、全職員で献立、子どもの様子を話し合う機会がある。小川村の食材、加工品を多く取り入れている。子ども達はお代わりを沢山しており、ほとんど残食がない。おやき、おはぎなど、地域の伝統食、季節のものを献立に取り入れている。童話や動物の鳴き声などから連想する献立名を付け、給食に興味、関心が持てるように工夫している。</p>
	2 子育て支援	(1) 家庭との緊密な連携	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ■ 104 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。 ■ 105 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。 ■ 106 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。 ■ 107 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。 	<p>・子どもとの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。園だより(にこにこ通信)、クラスだよりを通じ保育内容を知らせている。おたよりは写真入りで内容が解かりやすく工夫している。保護者参加の春の遊び、夏の遊び、秋の遊び(保護者会主催)、個別懇談会、にこにこ発表会、誕生会などの行事を通じて子ども達の園での様子を知り、保育内容の理解を深めている。送迎時園の様子、家庭の様子を伝え合い情報を共有している。未満児はおたより帳で日々の様子を知り、幼児は必要に応じてノートを活用し、連携を図っている。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	2	(2) 保護者等の支援	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b	<p>■ 108 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。</p> <p>■ 109 保護者等からの相談に応じる体制がある。</p> <p>■ 110 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。</p> <p>■ 111 保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。</p> <p>□ 112 相談内容を適切に記録している。</p> <p>■ 113 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。</p>	・保護者が安心して子育てができるよう支援している。保護者の気持ちに寄り添い、子育てに前向きになれるよう心掛け相談にのっている。必要によっては個別懇談を行っている。子どもが少人数なので職員は一人ひとりの園児を理解し、話し合える環境がある。園長、保育士も長年勤務しているので、園児だけでなく、兄弟、家庭環境などもよく把握している。今後、相談内容の記録をし、更に、今後活かしていくことを期待したい。
			② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b	<p>■ 114 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。</p> <p>■ 115 虐待等権利侵害の可能性があると感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。</p> <p>■ 116 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。</p> <p>■ 117 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。</p> <p>■ 118 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。</p> <p>□ 119 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。</p> <p>□ 120 マニュアルにもとづく職員研修を実施している。</p>	・家庭での虐待等、権利侵害の疑いのある子どもの早期発見、早期対策に努めている。子どもの言動、行動、体の様子を全職員で気を付けており、保健センターとも連携が取れている。今後、「児童の権利に関するマニュアル」や「虐待対応マニュアル」などを整備され、それに基づいて研修を行われることを期待したい。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
A	3 保育の質の向上	(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ■ 121 保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り（自己評価）を行っている。 ■ 122 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。 ■ 123 保育士等の自己評価を、定期的に行っている。 ■ 124 保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。 ■ 125 保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。 ■ 126 保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。 	・保育士が主体的に実践を振り返り、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。月案、週日案で日々の振り返りを行い、記録をして次に繋げるようにしている。保育士同士で課題を見だし意識の向上に努めている。